

【成績評価及び卒業の認定】

成績評価の方法

○客観的な指標の評価

- ・指標は、全科目の100点満点における評定の平均とする。

○成績の評価

- ・成績の評価は、4段階で行い、優（100点～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）、可以上を合格として当該授業科目について所定の単位を与える。

○成績の分布

- ・GPA制度は導入していないが、各科目の平均点、履修すべき科目全体の平均点の表示、クラス順位及び学年順位から成績分布状況を把握し、授業の方法及び学習指導に役立てる。

卒業認定

○ディプロマ・ポリシー

本学の建学の理念と求められる介護福祉士像を基に、次の学生像を介護福祉士育成の方針とする。

- ・実践の基となる質の高い専門的な知識と技術の習得。
- ・対象者を理解し、信頼関係を築き尊厳と自立を支援する能力。
- ・関係者と連携し、チームワークが実践できるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力。

○卒業の認定及び要件

学則第4章 学習評価、課程修了の認定及び卒業（卒業の認定）第21条 校長は、本校所定の全課程を終了した者に対して卒業の認定を行う。

○卒業判定の手順

学則第4章 学習評価、課程修了の認定及び卒業（課程修了の認定）第21条 各学年の課程の修了は、出席状況と学習の評価に基づいて、学年末に認定する。

学則第4章 学習評価、課程修了の認定及び卒業（課程修了の認定）第21条2 前項の認定は、教員会議の議を経て校長が行う。